

mFOLFOX6 + Bev

対象

結腸・直腸癌

投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間・速度	投与日 (d1,d8等)
1	ベバシズマブ	5mg/kg	DIV	90→60→30min	d 1
2	オキサリプラチン	85mg/m ²	DIV	2hr	d 1
3	レボホリナート	200mg/m ²	DIV	2hr	d 1
4	5FU	400mg/m ²	DIV	15min	d 1
5	5FU	2400mg/m ²	DIV	46hr	d 1-3

1コース期間	2週間																
総コース数	PDIになるまで																
投与開始基準	<ul style="list-style-type: none"> ・好中球 ≥ 1500 ・PLT ≥ 10万 ・HGB ≥ 9.0 ・T-Bil ≤ 施設基準上限 (1.2) × 1.5 ・AST、ALT ≤ 100 (肝転移: ≤ 200) ・クレアチニン ≤ 施設基準上限 (1.06) × 1.5 																
減量規定・中止基準	<p>Grade3の白血球減少、好中球減少、血小板減少、非血液毒性 5-FU (bolus)、L-OHPは、副作用状況により投与しない場合がある。 ベバシズマブ: 創傷治療遅延、静脈血栓塞栓症、可逆性後白室脳症→治療まで休薬 Grade2,3のネフローゼ症候群→Grade1まで休薬 消化管穿孔、動脈血栓塞栓症、高血圧脳症、クリーゼ、重度の出血、G4のネフローゼで中止再投与不可 尿蛋白1+となったらUTP/Ucre測定⇒UTP/Ucre: 1.0gを超えたら腎透析内科へコンサルトを検討</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>減量レベル</th> <th>L-OHP</th> <th>5FU (bolus)</th> <th>5FU (持続静注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初回投与量</td> <td>85</td> <td>400</td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>-1</td> <td>65</td> <td>300</td> <td>2000</td> </tr> <tr> <td>-2</td> <td>50</td> <td>200</td> <td>1600</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(単位mg/m²)</p>	減量レベル	L-OHP	5FU (bolus)	5FU (持続静注)	初回投与量	85	400	2400	-1	65	300	2000	-2	50	200	1600
減量レベル	L-OHP	5FU (bolus)	5FU (持続静注)														
初回投与量	85	400	2400														
-1	65	300	2000														
-2	50	200	1600														
2コース目以降の投与開始基準	投与開始基準に準じる																
コース間での休薬の規定	なし																
投与量の増量規定	なし																
注意すべき副作用	骨髄抑制、末梢神経障害、下痢、吐気、口内炎、インフュージョンリアクション、高血圧、尿蛋白、消化管穿孔、創傷治療遅延																

mFOLFOX6 + Bev

1コース期間
投与所要時間

14日
4時間15分(1回目)→3時間45分(2回目)
→3時間15分(3回目以降)

ルート	Rp	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与時間	day1
主管	1	カイトリルバッグ100mL デカドロン 4.95mg ★イメンドカプセル 内服		div	30min	○
	2	生食50mL		div	全開	○
	3	生食100mL(250mL) アバスチン【 】mg	5 mg/kg	div	90→60→30min	○
	4	5%ブドウ糖液 250mL オキサリプラチン 【 】mg ★Rp5を同時投与	85 mg/m ²	div	2hr	○
側管	5	5%ブドウ糖液 250mL アイソボリン 【 】mg ★Rp4 の側管から同時投与	200 mg/m ²	div	2hr	○
主管	6	生食50mL 5FU 【 】mg	400 mg/m ²	div	15min	○
	7	生食50mL【 】mL 5FU 【 】mg ★インフューザーポンプを用いて	2400 mg/m ²	div	46hr	○

コメント

・アバスチンの希釈液: 初回は生食250mL、2回目以降生食100mL
・嘔気コントロール不良時は、カイトリル⇒アロキシへの変更を考慮。

Reference: